

# 福岡市政に対する提言

平成25年10月2日

福岡商工会議所

わが国経済は、財政出動による経済対策や大胆な金融緩和など積極的な経済政策により、一部に持ち直しの動きが見られるが、地域の中小企業は景気回復を実感するに至っていない。さらには、中小企業が直面する経営環境は依然として厳しく、長引くデフレ、原材料・電気料金等のコスト上昇などの影響を受け、売上の低迷、採算の悪化に苦しんでいる。地域経済がいち早く活力を取り戻し、成長軌道に乗るためには、その原動力である中小企業の活性化が極めて重要であり、中小企業が抱える課題を解決し、成長を後押しする施策の拡充が必要である。

また、福岡市は、引き続き人口拡大が見込めるほか、国際コンベンション開催の増加、欧州直行便やLCCの就航をはじめとする海・空のネットワーク、グローバルMICE戦略都市の指定など、高い成長の潜在力を有しており、こうしたポテンシャルを大いに発揮することが期待される。

地域経済の成長と活性化を図るには、地域資源を活用した地域活性化、成長重視の施策の展開による中小企業の活力強化、アジアの拠点都市であり続けるための必要な環境整備が重要であるとの観点のもと、福岡商工会議所は、福岡市政に対し次の事項を提言する。

福岡市と福岡商工会議所は「車の両輪」の関係と云われるとおり、これまでも多くの事業を連携して実施し成果を挙げているところであり、今後もより一層強固な関係を構築し、これらの事項を「共働」して取り組む所存である。

## **I. 福岡の強みを活かした都市活力・産業の創出**

### **1 「グローバル・スタートアップ国家戦略特区」の実現を**

国において「日本再興戦略」の柱として、内閣総理大臣主導の下、大胆な規制改革等を実行するための強力な体制を構築して取り組む「国家戦略特区」を創設する方針が示された。

福岡市が提案している「グローバル・スタートアップ国家戦略特区」は、集積する都市機能やビジネスしやすい環境などの福岡市の持つ強みを活かし、わが国の持続的成長にとって極めて有効である。是非とも同特区を実現されたい。

福岡商工会議所も創業支援に積極的に取り組んでおり、福岡市と連携・協力をさらに進めてまいりたい。

### **2 首都機能バックアップに向けた取組の推進**

東日本大震災を契機に、自然災害のリスクが高いわが国において災害に強い国家・社会の形成のため、災害時・災害後においても政治・経済活動が継続して行えるよう、首都圏に集中している各種行政機能や経済機能のバックアップの必要性が強く認識されている。

福岡市は災害リスクの低さや都市機能が集積、国内外との多様なネットワークなどから、バックアップに相応しい都市であり、首都圏での非常事態に備えた機能バックアップに向けて取り組むことは有用である。福岡市の優位性をアピールし、バックアップ機能誘致に向けた取組みを推進されたい。あわせて、交通・物流・情報通信など社会基盤の充実、行政・学術・経済機能を誘致されたい。

### **3 観光の振興**

#### **(1) 「黒田官兵衛プロジェクト」推進による観光客誘致**

大河ドラマ「軍師官兵衛」放映は集客交流拡大の強力な追い風であり、千載一遇の好機として、観光客誘致に向けて推進されたい。

- 官民連携したPR・イベント、地域資源の掘り起こし、観光ルート・旅行商品の企画など観光客誘致に向けた取組みを推進されたい。
- 福岡城址をはじめ、黒田家ゆかりの施設などの整備を早急に図られたい。

## (2) 大規模スポーツ大会等の招致・開催

ユニバーシアード（1995年）、世界陸上グランプリファイナル（1997年）、世界水泳（2001年）などの世界レベルのスポーツイベントの招致・開催は、地域の活性化に大きく寄与してきた。さらなる活性化のため、今後も大規模スポーツ大会を招致・開催されたい。

- アジアで初めて「ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡」を開催し、成功を収めた実績を踏まえ、2019年の日本開催が決定している「ラグビー・ワールドカップ」の福岡での試合開催を招致されたい。
- ニュージーランドの最大の都市オークランドと姉妹都市であることから、世界最強と言われる同国代表「オールブラックス」のラグビー・ワールドカップにおけるキャンプ地に立候補されたい。
- さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定したことから、世界各国のチームのキャンプ地についても誘致されたい。

## (3) 官民連携によるMICEの推進

MICEは高い経済波及効果が期待でき、福岡の国際的な知名度の向上に大きく資するものである。今後も大規模な国際会議や国際見本市・展示会、コンサート等を誘致するとともに、官民連携で受け入れ施設・機能などの環境整備を図られたい。

- 大規模化する展示商談会などのコンベンション需要に対応できるよう、大規模コンベンション施設を早急に整備されたい。
- レセプション等の会場として、歴史的建造物や文化施設をユニークベニューとして活用することは、MICE開催地における魅力向上に繋がる。文化施設・公共空間等の利用開放、利用可能な施設や公共空間の開発促進を進められたい。

## (4) クルーズ客船の誘致と受入体制の整備

今年の外航クルーズ客船の博多港寄港は減少しているものの、今後も寄港数の増加や船の大型化により、大きな需要が期待されている。クルーズ客船の誘致を図るとともに、拡大するクルーズ需要に対応できるよう、受入れ体制の整備を図られたい。

- 大型クルーズ客船の寄港に対応するため、岸壁やボーディングブリッジを早期に整備されたい。
- CIQの人員体制や施設強化により、入国審査手続きの迅速化を図られたい。

## (5) 訪日観光客にやさしい街づくり

外国人観光客の増大のためには、旅行者にとって利便性が高く、快適な観光環境を提供することが重要である。ついては、観光客にやさしい街づくりを推進されたい。

- 外国人観光客が慣れない土地で不自由なく快適な観光をするため、案内・標識の多言語対応の充実を図られたい。
- 海外では、公園や宿泊施設、飲食店などでも無料Wi-Fiが設置されている。引き続きWi

ーFiの設置拡大を図り、海外諸国並みに通信環境を整備されたい。

- ショッピングツーリズムの魅力向上に向け、免税店の設置拡大や免税手続きの簡素化について取り組まされたい。
- 天神とウォーターフロントを結び、かつ夜間観光の資源になる那珂川水上バスを積極的に活用されたい。また、オープントップバス等と連携し、回遊性のある観光まちづくりを図られたい。

#### 4 ファッション産業の振興

ファッション関連分野における地域の優れたポテンシャルを最大限に活かし、関連企業・団体、学校、行政などが一体となって同関連産業の振興に取り組み、大きな成果をあげている。引き続き、積極的に支援されたい。

- 「福岡アジアコレクション (FACo)」、「ファッションウィーク福岡 (F. W. F.)」の開催を通じた消費拡大、日本のファッションに関心が高いアジアの若者をターゲットとした海外プロモーション、関連産業に従事する人材育成などの取組みに対して支援されたい。
- ファッションを、アニメ、ゲーム、ソフト開発とともにコンテンツ産業の柱として、観光や食との相乗効果を高めて海外へ発信されたい。

#### 5 「食」産業の振興

「食」産業を振興することは、生産（1次）から加工（2次）、販売・サービス（3次）まで幅広い業種の活性化に資するだけでなく、さらに、その特徴や魅力を情報発信していくことで観光面での集客強化にも繋がり、域内雇用をはじめ地域経済へ貢献は大きい。豊かな食文化を持つなどの強みを活かし、「食」産業の振興を図られたい。

- 農商工連携や6次産業化、食関連事業者の国内外への販路拡大を支援するための大規模な展示商談会（仮称「Food EXPO in FUKUOKA」）の開催に取り組まされたい。
- 健康食品・ヘルスケア産業が集積していることを踏まえ、同産業の振興を図られたい。

## II. 魅力と活力ある街づくりの推進

### 1 都心部等の活性化

「特定都市再生緊急整備地域」に指定された天神・渡辺通、博多駅周辺、ウォーターフロントの3地区を中心に、アジアに向けたビジネス拠点や市民の交流拠点となるよう、当該地区の都市機能を高めるとともに、回遊性の向上に資すよう都心部等の活性化を図られたい。

- 博多区役所・商工会議所を含む街区が、立地特性を活かし都心の回遊性向上に資するとともに拠点性を持った街区になるよう、一体的な整備について検討するため、具体的な協議の場を設置されたい。
- 冷泉地区が地元伝統工芸・文化等の発信拠点となるよう施設を整備されたい。また、地元の土産品等の物販機能と大型観光バス駐車機能を兼ねた施設についても整備されたい。
- 北天神の賑わいづくりに資すよう、須崎公園や拠点文化施設等が一体となった街づくりが図られるよう整備されたい。ベイサイドプレイス・中央ふ頭を利用して屋台・露天などによる賑わい創出を図るとともに、周辺一体のアクセス向上に取り組まされたい。
- 九大跡地が、周辺の歴史文化資源や生い立ちを活かしつつ、魅力や活力創出に繋がるような街づくりを推進されたい。

- 都心部の老朽化ビルの建替え促進のための容積率緩和策の見直しを図られたい。

## **2 セントラルパーク構想の実現**

検討が進められている市中心部に位置する大濠公園・舞鶴公園一帯を一体的な活用を図る「セントラルパーク構想」を実現されたい。

- 福岡のシンボルとなるような歴史、芸術・文化、観光の発信拠点として、一体的に整備されたい。また、利活用・管理面においても一体的に行われたい。

## **3 祭り・スポーツ等を活かした地域の活性化**

お祭りや文化・芸能などは地域の賑わいと活力を創出することはもとより、誘客と消費による大きな経済効果が期待される。地域経済の活性化のため、各主体の自主的な取組みを後押しすべく支援されたい。

- 福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」における博多駅前通りの演舞会場設置など賑わいづくりのための取組みへ支援されたい。
- 野球・サッカー・相撲・ラグビーなどの福岡を拠点とするスポーツ競技に対して支援されたい。

## **4 安全・安心なまちづくりの推進**

「治安なくして経済の発展はない」との認識のもと、安全・安心な街づくりに一層取り組まれたい。

- 飲酒運転撲滅や暴力団排除などの取組みを一層強化されたい。本目的のために設置する天神周辺地区の防犯カメラについて、継続して増強されたい。

# **Ⅲ. チャレンジする商工業者の成長の支援**

## **1 創業支援の拡充**

産業活力の維持・強化を図るためには、事業所の減少に歯止めをかけ、創業を強力に後押しすることが重要である。特に、創業は、雇用の創出効果が高く、新たな需要の源泉ともなるもので、「日本再興戦略」においても創業の促進に向けた施策を展開することとされていることから、創業支援の拡充を図られたい。

- 「グローバル・スタートアップ国家戦略特区」をはじめとする各種施策のほか、当所が実施する、創業塾の開催、創業資金の斡旋、マーケティングや事業計画作成などに係る専門家派遣、展示会出展や販路拡大支援など、相互に一層の連携強化を図ることで、創業準備段階から創業後初期段階において一貫した支援施策を展開できるよう取り組まれたい。

## **2 中小企業の省エネ・節電の取組みへの支援**

電力不足問題が顕在化し、電気料金の値上げが懸念される中、省エネ・節電はCO<sub>2</sub>排出削減にも繋がるだけでなく、中小企業の経営改善の効果も大きい。ついては、中小企業の省エネ・節電の取組みに対して支援されたい。

- 省エネ・節電を促すため、積極的な広報・啓発活動をされたい。
- 環境対策とコスト削減を両立するエネルギー効率の高い設備・機器への更新促進のための優遇策・支援策の充実を図られたい。

### **3 企業の成長を支える人材確保への支援**

中小企業が単独で求人活動を行うには、ノウハウやコスト、効果の面で限界がある。学生の就職活動についての見直しが行われる中、採用意欲の高い中小企業の人材確保を支援されたい。

- 中小企業が求める人材を採用できるよう、福岡市と共催で実施している「会社合同説明会」をはじめとした支援策の拡充を図られたい。

### **4 中小企業支援施策の拡充・連携強化**

中小企業は地域経済の活力の源泉であり、中小企業支援施策は地域経済と雇用を守るセーフティネットである。また、中小企業の支援ニーズは、起業から安定期、成長期など成長段階に応じて異なるため、きめ細かな対応されたい。

- 多様なニーズに効果的・効率的に対応するため、支援施策の一体的な実施を含め、一層の連携強化を図られたい。

## **IV. 潜在力を最大限に発揮する環境の整備**

### **1 女性が活躍する環境づくり**

出産・子育て等による離職を減少させ、女性の能力を十分に活用することは、企業の成長に寄与するだけでなく、女性の経済力が高まることで消費が活発になり、経済の活性化や雇用の創出といった好循環も期待される。かかる観点から、経済界等では「女性の大活躍推進福岡県会議」を設立したところである。

女性が意欲と能力を発揮しやすい企業文化をつくとともに、社会全体で女性の活躍を応援するような機運醸成を図られたい。

- 女性の活躍促進や子育て等の両立支援に取り組む企業に対するインセンティブを付与するなど、女性が活躍する環境づくりに取り組まれない。

### **2 留学生の受入れ拡大と福岡で定着できる環境整備**

福岡には数多くのアジアをはじめとする外国からの留学生が滞在し、また卒業後も、福岡での就職を望んでおり、福岡への定着を促進するためにも就職支援の充実が必要である。一方、中小企業においてもグローバル化が求められる中、国際展開に必要なグローバル人材の採用支援の強化が不可欠である。

- 留学生の受入れ拡大を図るとともに、福岡で就職を希望する優秀な留学生の確保や留学生が地元で定着できる環境づくりを図られたい。

### **3 福岡空港の整備促進**

九州・西日本地域の主要地域拠点空港として国際・国内ネットワークを形成する福岡空港は、円滑に離着陸できる容量を超え、離発着の遅延が常態化している。地域間競争や多様化する航空需要に対応するため、滑走路増設と平行誘導路二重化の早期整備を図られたい。

- 滑走路増設の環境アセスメント完了後の速やかな事業化への移行に向けて、予算の確保や工期短縮などについて国に強く働きかけられたい。あわせて、文化財調査等について集中的に取り組まれたい。
- 国際線における税関、出入国管理、各種検疫業務を行うC I Q機関について、開始時刻の繰上

げや増員などにより機能拡充を図られたい。

- 国際線利用者の利便性向上のため、交通アクセス改善を図られたい。

#### **4 アイランドシティの整備促進**

アイランドシティ地区は、アジアのゲートウェイとして競争力のある港湾の整備が図られるとともに、新しい産業の集積や良質な住環境の形成など先進的な都市づくりが進められている。市民生活や地域経済の活性化に寄与するよう整備されたい。

- アイランドシティの整備推進にあたっては、アイランドシティ・未来フォーラムの提言を踏まえ、施策の具体化や情報発信の強化を図られたい。
- 国際海上コンテナ取扱量の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、新たなコンテナターミナルについて早急に整備されたい。
- 都市機能の強化に伴う交通需要の増加に対応するため、自動車専用道路アイランドシティへ線の早期整備を図られたい。

#### **5 地下鉄七隈線延伸の早期整備**

地下鉄七隈線延伸については、市民の利便性はもとより、九州の陸海空の玄関口である福岡の魅力を高め市の発展に資するものと大きく期待されており、早期整備を図られたい。

- 地下鉄七隈線延伸の早期実現に向けて、予算確保や工期短縮などについて国に強く働きかけられたい。あわせて、七隈線延伸を契機とした沿線のまちづくりの整備を図られたい。

以上

平成25年10月2日  
福岡商工会議所  
会頭 末吉 紀雄